

2010年11月2日
東日本旅客鉄道株式会社

「技能教習所」の新たな展開について

～ 鉄道輸送サービスを担う技術者づくり ～

JR東日本では、お客さまに安心してご利用いただける鉄道を目指して、技術者の育成、特に鉄道の次代を担う社員にベテラン社員の技術や技能を確実に継承させることに力を入れています。その一環として、それぞれの職場での鉄道固有の技術や技能の継承をサポートする「技能教習所」の整備を進めております。

1 JR東日本の教育訓練施設

JR発足後、これまで全社員の共通教育訓練施設として新白河に「JR東日本総合研修センター」を整備したほか、「総合訓練センター」と「営業トレーニングセンター」を各支社に整備してきました。

技術職(車両メンテナンス部門・設備メンテナンス部門)社員は、これまで各現業機関や支社で整備した訓練施設を使い訓練を行ってきました。今回「技能教習所」を整備することで、より円滑に技術・技能が継承できる体制を強化します。

JR東日本総合研修センター(福島県白河市)【整備済】

全社員を対象とした集合教育施設。新入社員研修、各種マネジメント研修、乗務員養成研修などを実施。

総合訓練センター(11箇所)【整備済】

運転士・車掌・駅社員が列車運行に関する取扱いを学ぶ施設。定期訓練(約2年毎)と新任者訓練を実施。

営業トレーニングセンター(13箇所)、営業研修センター(埼玉県さいたま市)【整備済】

営業職社員(駅社員)がきっぷの発券や集改札の取扱いを学ぶ施設。発券端末等の操作訓練を実施。

技能教習所(104箇所)【今回整備】

技術職(車両・設備メンテナンス部門)社員が技術や技能を学ぶ施設。実際の作業等を体験する訓練を実施。

2 「技能教習所」とは

技術職の社員が必要とする鉄道固有の技術や技能を、基礎から学ぶ訓練施設です。

車両メンテナンス部門の「技能教習所」には鉄道車両のモックアップ(集電装置・ドア開閉装置・ブレーキ装置)などを、設備メンテナンス部門の「技能教習所」には鉄道設備(軌道・分岐器・ホーム・架線・信号設備など)を設け、実物に近い環境で訓練を行います。

3 「技能教習所」で行う訓練

習得すべき技術・技能に基づき整備した「技能教習所」で徹底した実技訓練を行います。

(1) 習得すべき技術・技能

日々の業務に必要な技術・技能（全社共通のもの、地域や車両の特性によるもの）
輸送障害等の発生時に原因を見つけたして処置し、安全かつ速やかに列車の運転
を再開するための技術・技能

(2) 具体的な訓練（例）

実際の作業を繰り返し体験し、仕事の「勘所」を学びます。

車両の故障調査、応急処置訓練

分岐器の組立て訓練

トンネルの検査訓練

架線断線時の仮復旧訓練

転てつ機の調整訓練

(3) 訓練計画と対象者

計画的な訓練のほか、業務での疑問を解消する学習の場として使用します。

当社の技術職社員のほか、パートナー会社社員の訓練にも使用します。

4 整備箇所数およびスケジュール

2013年度までに、104箇所の「技能教習所」を整備する予定です。

(1) 新たに「技能教習所」を整備 14箇所

(2) 既存の訓練施設を増強 62箇所

(3) 既存の訓練施設をそのまま活用 28箇所

車両メンテナンス部門はすべての総合車両センターと車両センターに、設備メンテナ
ンス部門は各支社の保線・土木・電力・信号・通信の専門分野ごとに整備し、職場のニ
ーズに応じた「使いたいときに使える訓練施設」とします。

5 その他

(1) 「技能教習所」の整備そのものを技術・技能習得の機会と捉え、若手社員をはじめ
とした現場第一線の社員自らが設計や施工を行います。

(2) 訓練設備や訓練メニューは、将来の車両や設備の更新、鉄道技術の革新に合わせて
その都度見直すこととし、技術の変化に対応する訓練を継続的に行っていきます。

「技能教習所」のイメージ

既存施設の例（笹子設備トレーニングセンター）

施設全景



訓練線・訓練架線



訓練用駅設備・訓練用トンネル



【参考】その他 J R 東日本の教育訓練施設

JR 東日本総合研修センター



総合訓練センター



営業トレーニングセンター



「技能教習所」で行う訓練の例

車両故障調査、応急復旧訓練（車両）



(仙台支社にて)

分岐器組立て訓練（保線）



(八王子支社にて)

トンネル検査訓練（土木）



(八王子支社にて)

橋りょうひずみ測定訓練（土木）



(八王子支社にて)

架線断線復旧訓練（電力）



(大宮支社にて)

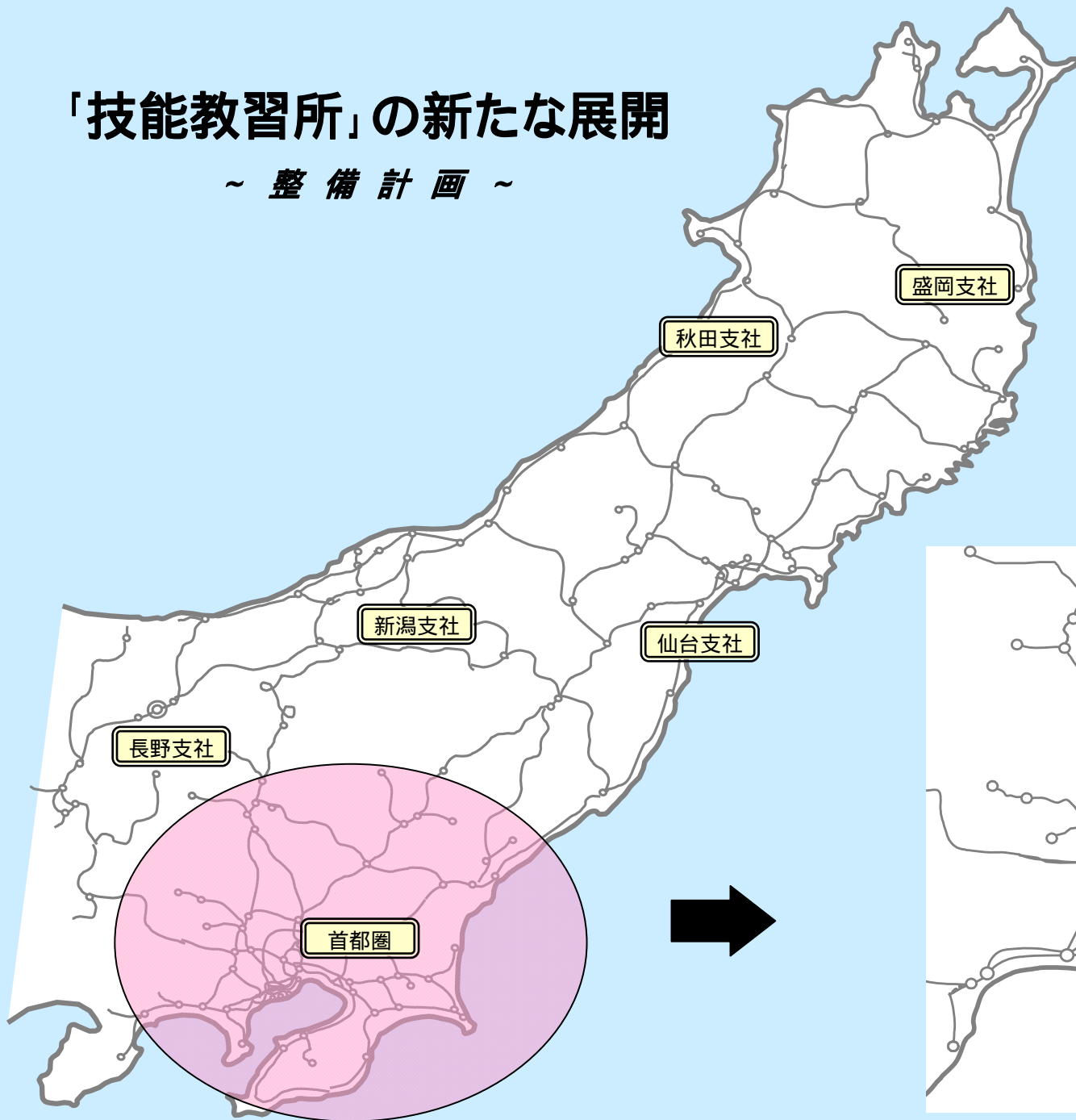
転てつ機調整訓練（信号・通信）



(八王子支社にて)

「技能教習所」の新たな展開

～ 整備計画 ～



【凡例】

新たに整備	14箇所
既存訓練施設を増強	62箇所
既存訓練施設をそのまま活用	28箇所

